港湾整備事業

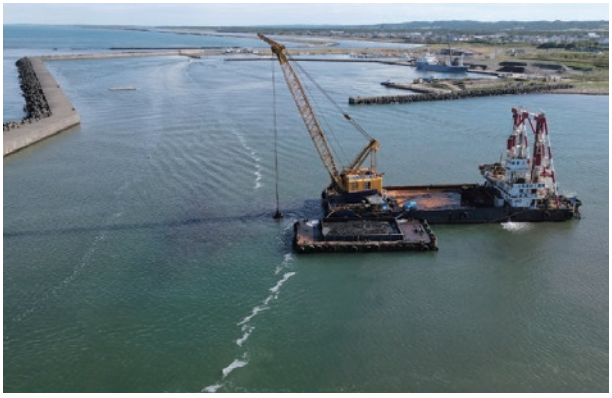
RUMOI
DEVELOPMENT & CONSTRUCTION DEPARTMENT

道北地域における地域産業の発展と、地域の生活基盤を支える整備を、留萌管内4港湾において進めます。

重要港湾である留萌港では、物流の効率化を図るため、時化時の港内静穏度向上を目指した防災・減災対策として防波堤等の整備を行います。

地方港湾では、各地域の主要産業を支えるため、港湾利用の安全性向上を目指した増毛港における防波護岸整備、荷役の効率化を目指した羽幌港における小型船溜まり整備、船舶航行の安全性向上を目指した天塩港における航路および防波堤等の整備を行います。

留萌港外港地区　南防波堤改良　整備状況



天塩港本港地区　水深6m航路　整備状況

◇港湾整備事業の概要

港湾名		地区名	事業の概要
重要港湾	留萌港	外港地区	南防波堤改良
		古丹浜地区	水深１０m航路
地方港湾	増毛港	本港地区	北防波護岸改良
	羽幌港	本港地区	水深３．５m物揚場改良
	天塩港	本港地区	水深６m航路、西外防波堤、西防砂堤

水産基盤整備事業

RUMOI
DEVELOPMENT & CONSTRUCTION DEPARTMENT

留萌管内の第3種及び第4種漁港は、日本海有数の好漁場である武蔵堆の近傍に位置し、刺網やエビ籠などの地域沿岸漁業、周辺海域で操業する道内外からのイカ釣り漁業の生産・流通拠点として重要な役割を担っています。

また、道内はもとより国内へのホタテ種苗の供給や韓国等で高い需要のある活ホタテガイ輸出など、我が国の水産業の競争力強化に貢献しています。

このことを踏まえ、令和8年度は「水産業の成長産業化に向けた拠点機能強化対策」及び「持続可能な漁業生産を確保するための漁港施設の強靱化・長寿命化対策」を重点的に推進します。

苫前地区では、流通体制の効率化に向けた漁港機能再編・集約をするための新埠頭の防波堤整備を行います。

遠別地区では、漁業活動の安全性を確保するための防波堤の整備を行います。

留萌管内地区では、漁港施設の長寿命化を図るため、苫前漁港、遠別漁港、雄冬漁港において防波堤等の補修を行います。

遠別地区南防波堤　整備状況

◇水産基盤整備事業の概要

事業区分	地区名	事業の概要
特定漁港漁場整備事業	苫前地区 （第３種苫前漁港）	外郭施設：北外防波堤
	遠別地区 （第４種遠別漁港）	外郭施設：南防波堤（改良）
	留萌管内地区	【苫前漁港】外郭施設：北防波堤（補修）　水域施設：水深４．５m泊地（補修） 係留施設：水深４．５m岸壁（補修）　輸送施設：９．０m道路（補修） 【遠別漁港】水域施設：水深３．５m航路（補修）、水深３．５m泊地（補修） 【雄冬漁港】外郭施設：島防波堤（補修） 水域施設：水深２．０m泊地（補修）